



通信モジュール アップデート手順書

本書は、DRX5010、DRX5002 搭載の
通信モジュールのファームウェアを
アップデートするための
手順を記載した資料となります。

はじめに

■ 本書について

本書は、DRX5010、DRX5002の通信モジュールのファームウェアをアップデートするための手順を記載した資料となります。

製品の設定や使用方法などは「Rooster DRX 取扱説明書」および「Rooster DRX CLI設定機能説明書」、「Rooster DRX AdvancedWeb 設定機能説明書」をご覧ください。

■ 表記について

本書では、守っていただきたい事項に次のマークを表示しております。



人体に危険を及ぼしたり、装置に大きなダメージを与えたりする可能性があることを示しています。必ずお守りください。



機能停止を招いたり、各種データを消してしまったりする可能性があることを示しています。十分に注意してください。



関連する情報を記載しています。参考にお読みください。

本書内の参考画像の丸線やアンダーライン表記は、赤色が操作部分、水色が確認部分の場所になります。

■ 本書が対応とする機器について

本書の対象となる機種は「DRX5010」、「DRX5002」で、**「通信モジュールのFWバージョン」が古い（v14-12 以前）個体**が対象となります。
DRX製造番号では、DRX5010はDR01047047933以前、DRX5002はDR00247047933以前が対象となります。

■ 製品名について

本書では、「DRX5010」、「DRX5002」を「DRX」と省略して記載しております。



本書では通信モジュールのアップデートに関する部分のみを説明しています。その他の部分の説明につきましては「Rooster DRX 取扱説明書」および「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」、「Rooster DRX AdvancedWeb 設定機能説明書」をご覧ください。



通信モジュールのアップデートが可能な DRX のファームウェアバージョンは **v2.6.0** です。このバージョン以前の場合はバージョンアップを行ってください。
詳しくは弊社ホームページ（<https://www.sun-denshi.co.jp/sc/download.html#rooster-fw>）および「Rooster DRX 取扱説明書」をご覧ください。

目次

はじめに.....	2
<hr/>	
1 章 通信モジュールのアップデートについて	4
1-1 方法	4
1-2 各方法の特徴	5
1-2-1 WEB 設定画面操作によるアップデート	5
1-2-2 CLI コマンドによるアップデート	6
<hr/>	
2 章 準備	7
2-1 通信モジュールのファームウェアバージョンの確認	7
2-2 DRX 本体のファームウェアバージョンの確認	7
2-3 イメージファイルの入手	7
2-4 環境構築	8
2-4-1 WEB 設定	8
2-4-2 CLI コマンド	8
<hr/>	
3 章 操作手順	9
3-1 シンプルモード WEB 設定	9
3-2 アドバンスモード WEB 設定	12
3-3 CLI コマンド	14
3-4 その他注意事項	16
<hr/>	
4 章 サポートのご案内	17

1章 通信モジュールのアップデートについて

この章では、通信モジュールのアップデート概要について説明します。

1-1 方法

PC などの端末を DRX に接続し、「DRX モバイル通信端末 FW バージョンアップ ソフトウェア」（以下、イメージファイル）を DRX に転送することで通信モジュールのアップデートを行います。

通信モジュールのアップデートには 2 つの方法があります。

1. Web ブラウザから WEB 設定画面操作によるアップデート
2. ssh クライアントから CLI コマンド操作によるアップデート

1-2 各方法の特徴

1-2-1 WEB設定画面操作によるアップデート

Web ブラウザから DRX にアクセスし、画面操作をすることで、ファームウェアのイメージファイルを DRX へアップロードしてアップデートを行います。

WEB 設定画面はシンプルモード、アドバンスモードの 2 種類があります。



【設定モードについて】
DRX の設定は 2 つのモードがあります。

- ・ シンプルモード
一般的な機能を簡易に操作で設定が出来るモードです。（工場出荷状態）
WWW ブラウザから Web 設定ツールを操作することで各種設定を行います。
SSH による CLI コマンドからは情報出力やログ取得などが可能です。（設定は不可）
- ・ アドバンスドモード
上級者を対象にした詳細な設定が可能となるモードです。
WWW ブラウザから Web 設定ツールや、SSH による CLI コマンドで操作することで各種設定を行うモードです。

・ シンプルモードの画面

本体設定

本体の各設定を行います。

ファームウェアアップデート

■ ファームウェアのアップデートを行います。

現在のファームウェアバージョン:
DRX5002 RoosterOS 2.6.0 B7

アップデート開始ボタンを押すと、指定されたファームウェアに書き換えを行います。

ファイル名: ファイルが選択されていません

・ アドバンスモードの画面

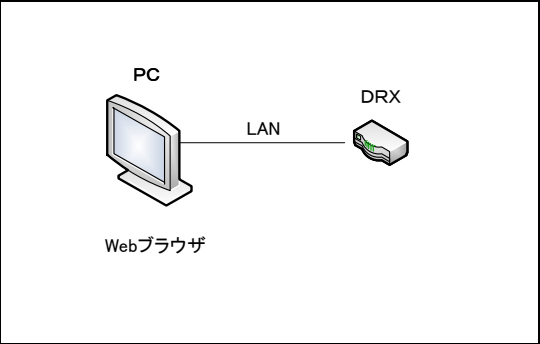
追加パッケージ

追加パッケージのインストール

選択されていません

パッケージ名	バージョン情報	操作
--------	---------	----

・ 環境イメージ



1-2-2 CLIコマンドによるアップデート

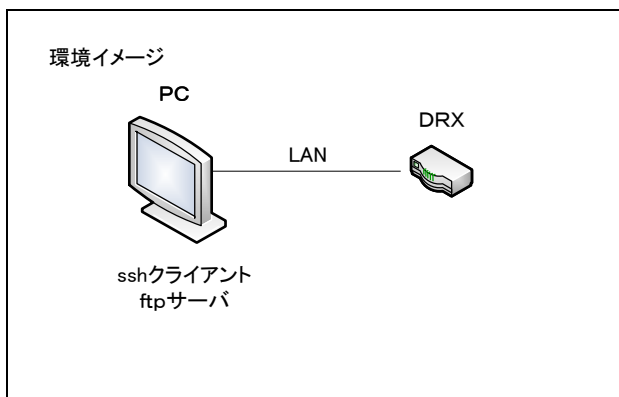
ssh クライアントから DRX にアクセスし、CLI コマンドを入力することで、ftp サーバか tftp サーバからファームウェアのイメージファイルを DRX にダウンロードしてアップデートを行います。

・ 操作画面



```
192.168.62.1 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
RoosterOS> install package firmware-amm574_14-18.rtar ftp 192.168.62.200 user password
download firmware-amm574_14-18.rtar...done
install firmware-amm574_14-18.rtar...done
RoosterOS> show log system 30
Aug 29 15:47:43 : -----system started---
Aug 29 15:47:43 : ログシステムを開始します。
Aug 29 15:47:43 : ログシステムを停止します。
Aug 29 15:47:45 : ログシステムを開始します。
Aug 29 15:47:52 : lan : インタフェースが UP 状態になりました。
Aug 29 15:47:54 : loopback : インタフェースが UP 状態になりました。
Aug 29 15:48:03 : アドバンスドモードで動作します。
Aug 29 15:48:28 : 時刻自動設定サービス (通信モジュール) を開始します。
Aug 29 15:53:22 : firmware-amm574_14-18.rtar のインストールを行います。
Aug 29 15:53:53 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアを更新します
Aug 29 15:57:26 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアがバージョン' 14-18' に更新さ
れました
Aug 29 15:57:42 : firmware-amm574_14-18.rtar のインストールに成功しました。
RoosterOS>
```

・ 環境イメージ



2章 準備

ここでは、アップデートを実施するための準備について説明します。

2-1 通信モジュールのファームウェアバージョンの確認

本書が対象とする機器としては、「通信モジュールのファームウェアバージョン」が古い（v14-12 以前）個体が対象となります。

DRX 製造番号では、

DRX5010 は DR01047047933 以前

DRX5002 は DR00247047933 以前

が対象となります。

上記 製造番号以降の個体や、新しいファームウェアバージョン（v14-13 以降）の場合は対象外で、本書のアップデート作業を行う必要はありません。

通信モジュールのファームウェアバージョンを確認するには、以下の方法があります。

- ・ CLI では、
「show mobile」コマンドから確認できます。
詳しくは「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」の「3-5-1.モバイル端末情報の一覧表示」を参照ください。
- ・ アドバンスモード WEBUI では、
モバイル通信端末ステータス画面の「モバイル通信端末情報一覧」欄の「バージョン」項目から確認できます。
詳しくは「Rooster DRX AdvancedWeb 設定機能説明書」の「6-2.モバイル通信端末」項目を参照ください。
- ・ シンプルモード WEBUI では、
確認することができません。CLI から確認いただくか、上記 DRX 製造番号から確認ください。

2-2 DRX本体のファームウェアバージョンの確認

DRX 本体のファームウェアバージョンは v2.6.0 以降で行ってください。

バージョンが古い場合は、先に DRX 本体のファームウェアアップデートを行ってから実施ください。

詳しくは「Rooster DRX 取扱説明書」の「6-3. ファームウェアのアップデート方法」項目を参照ください。

2-3 イメージファイルの入手

インターネット上の以下の URL より、イメージファイル（firmware-amm574_14-18_xxx.rtar）をダウンロードしてください。

<https://www.sun-denshi.co.jp/sc/download.html#swtool>

2-4 環境構築

2-4-1 WEB設定

DRX と PC を LAN で接続し、PC は Web ブラウザ（chrome を推奨）を準備ください。

詳しくは「Rooster DRX 取扱説明書」の「2 章 DRX の導入」項目を参照ください。

2-4-2 CLIコマンド

DRX と PC を LAN で接続し、PC は SSH クライアント（teraterm を推奨）を準備ください。

詳しくは「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」の「1-2. CLI での接続」項目を参照ください。

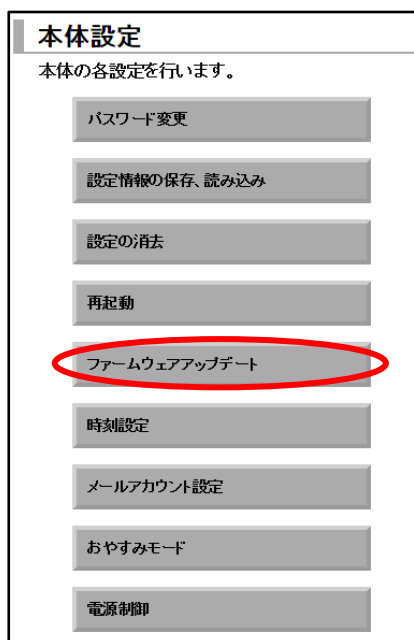
3章 操作手順

ここでは、アップデートを実施するための操作手順について説明します。

3-1 シンプルモードWEB設定

※WEB 設定ツールの基本操作については「Rooster DRX 取扱説明書」を参照ください。

1. WEB 設定ツールのメニューから、[本体設定]－[ファームウェアアップデート]をクリックします。「ファームウェアアップデート」のページが表示されます。



2. [ファイルの選択] ボタンをクリックして、イメージファイル “firmware-amm574_14-18_xxx.rtar” のファイルを選択します。

本体設定

本体の各設定を行います。

ファームウェアアップデート

■ ファームウェアのアップデートを行います。

現在のファームウェアバージョン:
DRX5002 RoosterOS 2.6.0 B13

アップデート開始ボタンを押すと、指定されたファームウェアに書き換えを行います。

ファイル名: ファイルの選択 ファイルが選択されていません アップデート開始

3. [アップデート開始] ボタンをクリックします。

アップデート開始ボタンを押すと、指定されたファームウェアに書き換えを行います。

ファイル名: ファイルの選択 firmware-amm574_14-18.rtar アップデート開始

4. 確認後ウィンドウが表示されますので [OK] ボタンをクリックし、アップデートを開始します。

192.168.62.1 の内容

ファームウェアをアップデートします。よろしいですか？

OK キャンセル

5. “アップデートに成功しました” というメッセージが表示されるまで待ってください。
(10 分前後で表示されます)

※アップデート中は絶対に DRX の電源 OFF や、DRX の再起動をしないでください。
また、設定変更やステータス表示なども含め他の操作はしないでください。

表示されない場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。

6. WEB 設定画面の TOP ページから [ログ] – [システムログ] を選択し、システムログを表示します。

Rooster 設定

- 本体設定
- インターフェイス
- 各種サービス
- ネットワーク
- ログ
- ステータス

7. システムログ内に
「通信モジュールのファームウェアがバージョン'14-18'に更新されました」
というメッセージが出力されていれば成功です。
もし表示されていなかった場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。

ログ

ログ表示の各設定を行います。

その他のログ:システムログ

■ システムログ一覧を表示します。

現在の時間は 2024/08/29 19:23:31

最新ログ再読み込み

全てのログ取得

クリア

ログ

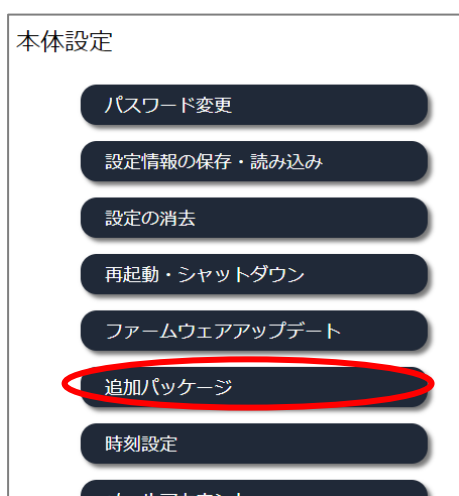
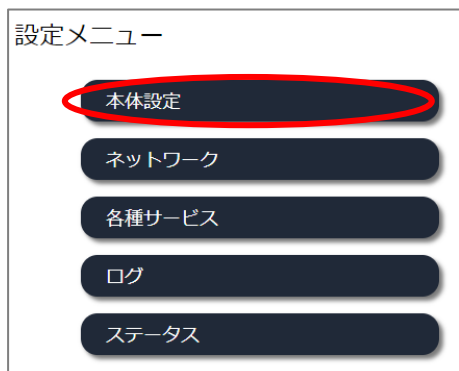
Aug 29 19:28:11 : rtar ファイルのインストールに成功しました。
Aug 29 19:27:55 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアがバージョン'14-18'に更新されました
Aug 29 19:23:57 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアを更新します
Aug 29 19:22:46 : ファームウェアのアップデートを行ないます。
Aug 29 19:22:09 : 時刻自動設定サービス（通信モジュール）を開始します。
Aug 29 19:21:42 : loopback : インタフェースが UP 状態になりました。
Aug 29 19:21:39 : lan : インタフェースが UP 状態になりました。
Aug 29 19:21:38 : シンプル WebUI を開始します。
Aug 29 19:21:32 : ログシステムを開始します。
Aug 29 19:21:30 : ログシステムを停止します。
Aug 29 19:21:30 : ログシステムを開始します。
Aug 29 19:21:30 : -----system started-----

8. DRX を再起動してください。

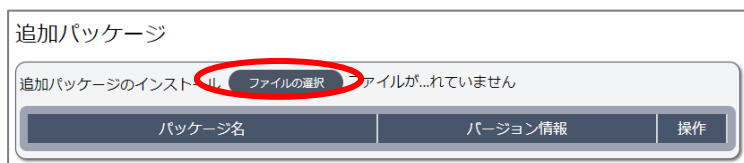
3-2 アドバンスモードWEB設定

※WEB 設定ツールの基本操作については「Rooster DRX AdvancedWeb 設定機能説明書」を参照ください。

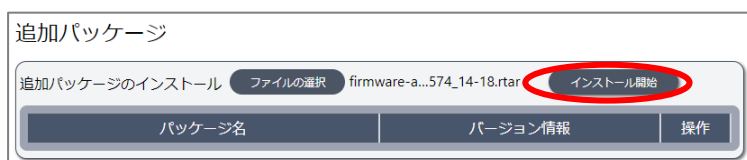
1. WEB 設定ツールのメニューから、[本体設定]－[追加パッケージ] をクリックします。「追加パッケージ」のページが表示されます。



2. [ファイルの選択] ボタンをクリックして、イメージファイル“firmware-amm574_14-18 _xxx.rtar”のファイルを選択します。

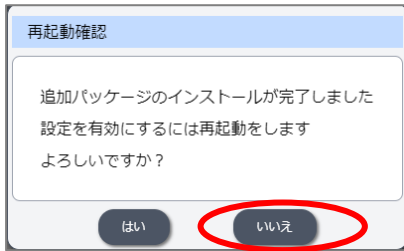


3. [インストール開始] ボタンをクリックします。



※アップデート中は絶対に DRX の電源 OFF や、DRX の再起動をしないでください。
また、設定変更やステータス表示なども含め他の操作はしないでください。

4. インストールが完了すると再起動確認ダイアログが表示されます。[いいえ] を選択します。
(10 分前後で表示されます)



表示されない場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。

5. トップページから [ログ] - [システムログ] を選択します。

システムログ内に

「通信モジュールのファームウェアがバージョン'14-18'に更新されました」

というメッセージが出力されていれば成功です。

もし表示されていなかった場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。



6. DRX を再起動してください。

3-3 CLIコマンド



イメージファイルをダウンロードするための ftp / tftp サーバの環境構築や、ssh クライアントのインストールと設定は完了していることを前提とします。

※CLI コマンドの詳細については「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」を参照ください。

1. ダウンロードしたイメージファイルを、ftp / tftp サーバの管理下のフォルダにコピーしてください。

2. DRX の CLI にログインしてください。

詳細は「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」の「1-2. CLI での接続」項目を参照ください。

3. install コマンドでイメージファイルをインストールしてください。

詳細は「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」の「2-22-1. 追加パッケージのインストール」項目を参照ください。

**※アップデート中は絶対に DRX の電源 OFF や、DRX の再起動をしないでください。
また、設定変更やステータス表示なども含め他の操作はしないでください。**

(ダウンロード完了から 10 分前後で終了します)

エラーが表示された場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。

4. log コマンドでシステムログを表示しログ内に

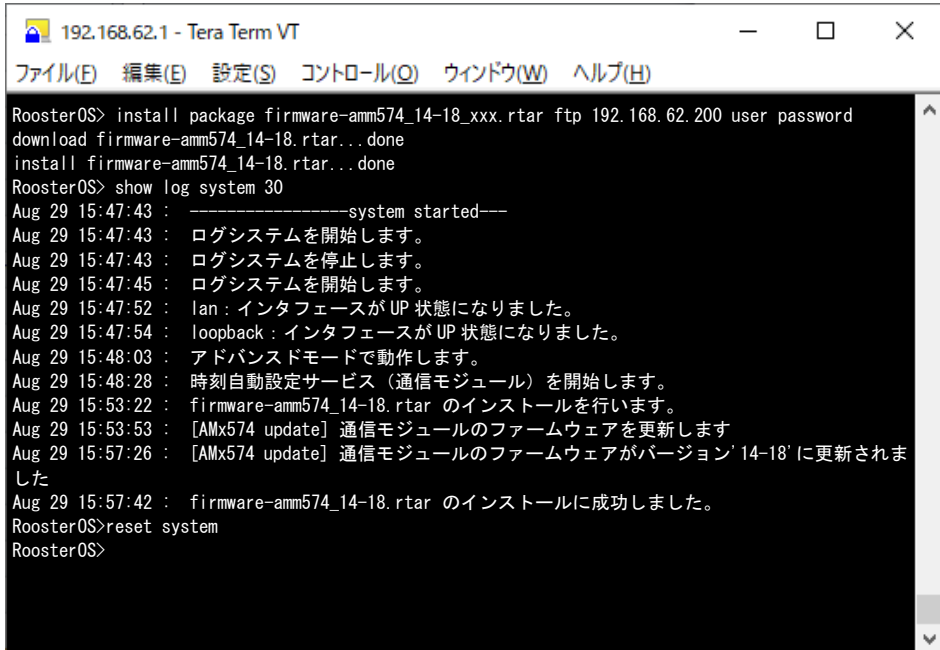
「通信モジュールのファームウェアがバージョン'14-18'に更新されました」
というメッセージが出力されていれば成功です。

もし表示されていなかった場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。

詳細は「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」の「3-3. ログの表示」項目を参照ください。

5. DRX を再起動してください。

操作例



```
192.168.62.1 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

RoosterOS> install package firmware-amm574_14-18_xxx.rtar ftp 192.168.62.200 user password
download firmware-amm574_14-18.rtar...done
install firmware-amm574_14-18.rtar...done
RoosterOS> show log system 30
Aug 29 15:47:43 : -----system started-----
Aug 29 15:47:43 : ログシステムを開始します。
Aug 29 15:47:43 : ログシステムを停止します。
Aug 29 15:47:45 : ログシステムを開始します。
Aug 29 15:47:52 : lan : インタフェースが UP 状態になりました。
Aug 29 15:47:54 : loopback : インタフェースが UP 状態になりました。
Aug 29 15:48:03 : アドバンスドモードで動作します。
Aug 29 15:48:28 : 時刻自動設定サービス (通信モジュール) を開始します。
Aug 29 15:53:22 : firmware-amm574_14-18.rtar のインストールを行います。
Aug 29 15:53:53 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアを更新します
Aug 29 15:57:26 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアがバージョン'14-18'に更新されました
Aug 29 15:57:42 : firmware-amm574_14-18.rtar のインストールに成功しました。
RoosterOS>reset system
RoosterOS>
```

3-4 その他注意事項

1. アップデート中は絶対に DRX の電源 OFF や、DRX の再起動をしないでください。
設定変更やステータス表示なども含め他の操作はしないでください。
2. インターネット側からの操作でアップデートを行うことは可能ですが、アップデート表示がされません。その場合再接続後、システムログに以下のログ
「通信モジュールのファームウェアがバージョン' 14-18' に更新されました」
が出力されていれば成功となります。
3. アップデート成功後、以下のログが出力された場合、
「' 14-18' は動作中のファームウェアバージョンと同じです」
通信モジュールにアップデートは適用済みのため、本書のアップデート作業は必要ありません。

4章 サポートのご案内

■ 最新情報の入手

DRX に関する最新情報は、弊社ホームページから入手することができます。
また、バージョンアップ情報につきましても公開しております。

- 製品紹介ページ
https://www.sun-denshi.co.jp/sc/product_service/router/

■ ご質問・お問い合わせ

DRX に関するご質問やお問い合わせは、下記へご連絡願います。

ユーザーサポートセンター

- 電話 050-1726-3104 （旧 0587-53-7606 ※変更となりました）
- メール support@schd.sun-denshi.co.jp
 (旧 support-suncomm@sun-denshi.co.jp ※変更となりました)
- 受付時間 月曜～金曜 10:00～16:00（12:00～13:00 を除く）
 祝日、弊社休日を除く